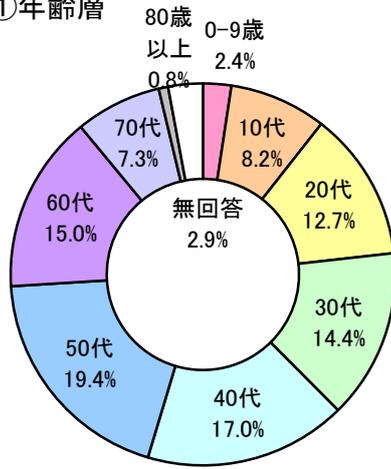


特別展「染付 - 藍が彩るアジアの器」 アンケート集計結果

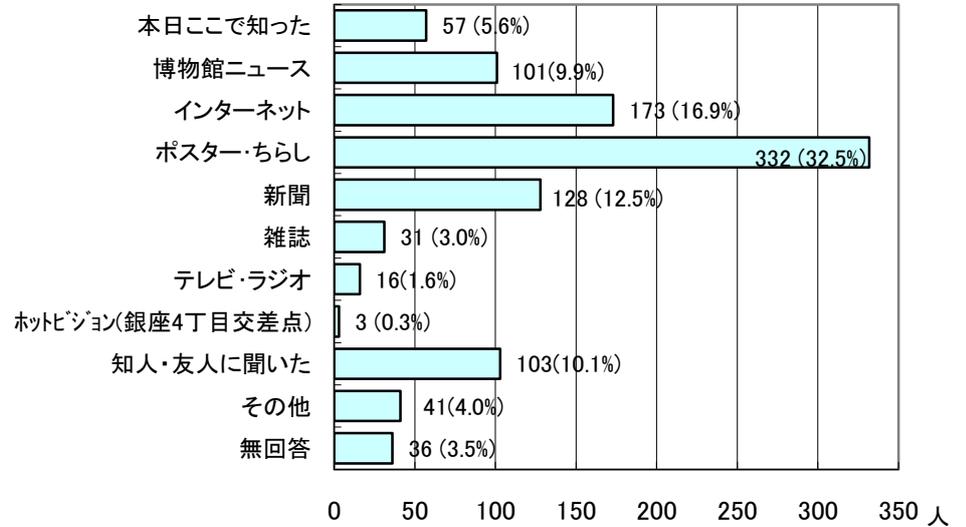
開催期間：平成21年7月14日（火）～9月6日（日）

回答者数：758人（総入館者数：52,731人 アンケート回収率：1.44%）

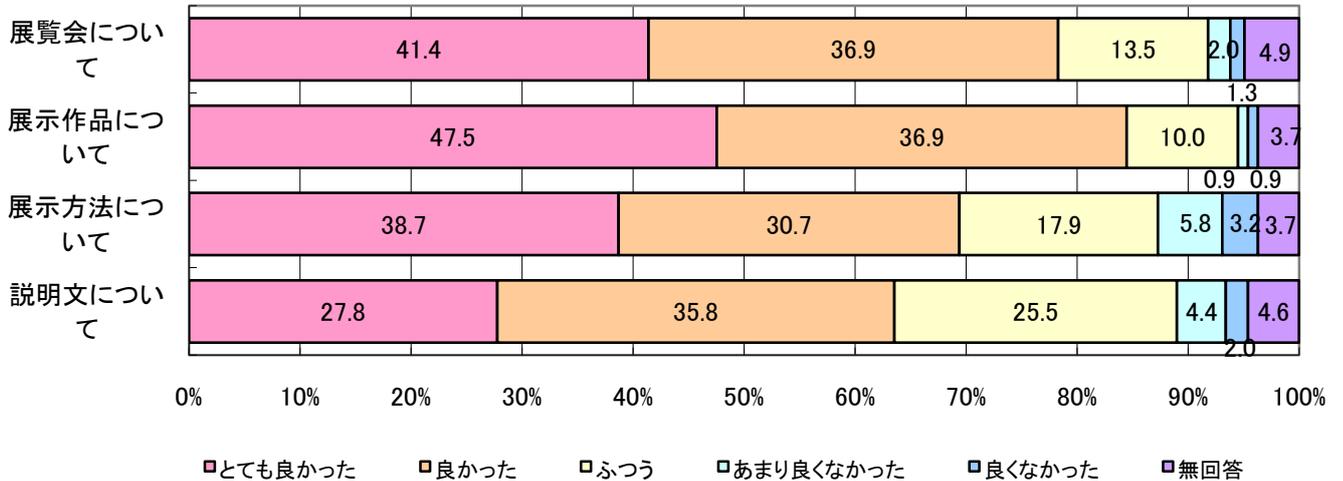
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・「生活の美を生かす」コーナーが良かった。器の実用例を取り入れた展示が面白かった。
- ・素晴らしい展示内容で楽しむことができた。
- ・ハンズオンコーナーがとても良かった。実際に手で触ると違いが分かりやすかった。
- ・染付についての理解が深まった。
- ・鏡を使うなどして、見えないところが見えるように工夫してほしい。(高台・器の内側など)
- ・器の内側の絵柄(見込み)が見えにくいので、もっと低い位置で展示してほしい。

染付とは白磁の素地にコバルトを含んだ顔料を用いて筆彩で文様を描く技法をいいます。染付は堅牢で実用性に富む性質から人々に深く浸透し、実用の器として親しまれてきました。

本展覧会では、アジア各地で作られた染付の優品を約200点を集め、染付の特性・時代や地域による多様性を紹介して、約5万人のお客様にご来場いただきました。

展覧会については約78%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「鏡を使うなどして、見えないところが見えるように工夫してほしい。」などの意見もいただきました。今後も、お寄せいただいたご意見・ご感想を参考に観覧環境の改善に努めてまいります。